

事務事業名	消防大会・消防操法大会出場事業		所属部	総務部	所属課	危機管理室
政策名	総合計画体系 (II)環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり《定住環境》	所属G	危機管理グループ			
施策名		担当名	課長名	齊藤雅孝		
基本事業名		坂田裕二	電話番号(内線)	0854-40-1027		
	(13)消防・防災対策の推進	予算科目	会計	款	項	目
	(038)消防体制の確保		01	45	05	1004
			中事業 消防大会・消防操法大会			

1 現状把握の部

(1)事業概要

①事業期間	②事業の内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(16年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(年度~年度)	雲南市消防団が、島根県消防大会、島根県消防操法大会及び雲南地区消防団操法大会に出場する際の準備、各種手続及び経費負担を行う。	消防技術の向上と士気の高揚のため、合併前から取り組んでいる。

(2)トータルコスト

①事業費の内訳(概要)	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	全体計画
操法手当(2,400千円) 出動手当・日当旅費(1,764千円)、消耗品費(1,592千円)、食糧費(103千円)、賃借料(346千円)	事業費						
	財源内訳						
	国庫支出金	千円					
	県支出金	千円					
	地方債	千円					
	その他	千円					
	一般財源	千円	6,281	5,789	6,204	5,720	6,300
	事業費計(A)	千円	6,281	5,789	6,204	5,720	6,300
②延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	人件費						
雲南市消防団が、島根県消防大会、島根県消防操法大会及び、雲南地区消防団操法大会に出場する際の準備、各種手続及び経費負担を行う。	正規職員従事人数	人	2	2	3	3	
	延べ業務時間	時間	276	291	404		
	人件費計(B)	千円	1,053	1,131	1,593	0	0
	トータルコスト(A)+(B)	千円	7,334	6,920	7,797	5,720	6,300

(3)事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	①主な活動	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	23年度実績(23年度に行った主な活動)	⑤活動指標							
	浜田市で開催。ポンプ車の部で木次方面隊、小型ポンプの部で三刀屋及び掛合方面隊が出場した。	ア 延べ訓練回数	回	210	210	210	210	210	210
	24年度計画(24年度に計画している主な活動)	イ							
	奥出雲町で開催。ポンプ車の部で大東方面隊、小型ポンプの部で加茂、木次及び掛合方面隊が出場する。	ウ							
		エ							
		オ							

目的	②対象(誰、何を対象にしているのか)	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	雲南市消防団員	⑥対象指標							
	ア 消防団員数	人	1349	1351	1331	1331	1331	1331	
	③意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦成果指標							
	消防技術の向上を図る。	ア 出場分団数	分団	3	4	3	4	3	4
		イ							
		ウ							
上位目的	④結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	⑧上位成果指標							
	生命・財産を火災・災害から守る。	ア 年間火災発生件数(暦年)	件	18	10	19	8	8	8
		イ 災害による年間人的被害者数(暦年)	人	0	0	0	0	0	0

(4)事務事業の環境変化、住民意見等

①事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	②この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
少子高齢、過疎化、社会環境の変化により、消防団員が少なくなり、また、団員の平均年齢が上がったことにより、操法大会の選手選考が難しくなっている。	雲南市消防団訓練検討委員会において、操法大会の出場について検討している。	操法の取り組みは必要である。

事務事業名	消防大会・消防操法大会出場事業	所属部	総務部	所属課	危機管理室
-------	-----------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 消防団員の消防技術向上につながっている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 市が消防団を設置していることから、消防団員の消防技術向上を図ることは必要である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 全団員が対象であり、適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 多くの団員に消防操法を経験してもらうことにより、消防技術の向上につながる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 団員の協調性や意識高揚の機会が減ることになり、ひいては組織の統率力や消防技能の低下につながりかねない。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ このほかに類似の大会はない。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 今後の出場隊の数や割り当てがすでに決定している。毎年度3又は4隊が出場することになっており、1隊当たりの経費も削減の上、措置してきている。成果を下げずに事業費を削減するためには消防団の理解が必要である。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 市が設置している消防団の事務である。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 参加チームには消防団との申し合わせにより支出している。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	消防操法については、参加チームの負担が大きいため見直しの意見もあるが、多くの人に操法技術を習得してもらうことにより、防火防災体制の強化及び士気の高揚につながる。基本動作を身につけるためにも当面現状を維持する。																					
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						
近年、毎年のように団員数が減少している。団員の負担を軽減するため、操法大会への出場チーム数を再度見直す必要がある。																						